

9月は、運動会や文化祭、音楽会等の大きな行事が行われる学校が多いですが、行事に向けた準備の慌ただしさの中で、学級の日常の活動に目が向きにくい時期でもあります。2学期前半に、互いを思いやりながら落ち着いた学級の雰囲気を作りだせるように、学級の係活動や班活動が充実する取組を進めてみましょう。学級での地道な活動の積み重ねが、学校行事の成功にも結び付くことでしょう。



<小学校>

学級PTAで保護者同士も仲良く

これから秋の学級懇談会を活用し、保護者同士が言葉を交わし合う場面を増やしましょう。

【例1】 改めまして自己紹介ゲーム!

「子どもの名前や地区、私の好きな〇〇、お勧めの〇〇、今年の夏は〇〇に行きました」等、ゲーム感覚の自由な雰囲気の中で改めて自己紹介し、コミュニケーションをさらに深めましょう。

【例2】 みんなでわいわい井戸端会議

「我が家の家庭学習こんな工夫」「早寝早起き我が家のルール」「夏休み中の我が子のゲーム・スマホSNSの利用状況は?」

等のテーマを設け、保護者が小グループでざっくばらんに話をする時間を作ってみましょう。



保護者は笑顔で帰宅!保護者の笑顔は子どもの明るい笑顔につながります。

学級づくりをキャリア教育の視点から見ると

活動への自覚や責任感を育む班活動

生活班は、学級における規律ある学習や生活づくり、助け合える関係づくりの基盤となるものです。班活動をこれまで以上に活性化させるために、班替えをして班内で係を決める際に、「清掃係」のような「〇〇係」でなく、「清掃リーダー」のように「〇〇リーダー」と名付けて活動に取り組みせてみませんか。



「立場が人を育てる」という言葉もあります。「リーダー」としての自覚が芽生え、張り切って活動する姿が期待されます。また、お互いがリーダーという同じ立場に立つことで、頑張るリーダーに協力しようとする助け合う雰囲気が生まれます。そんな助け合う姿を教師は見逃さず評価したり、児童同士が評価し合う場面をつくったりすることも大切にしましょう。キャリア教育で育む人間関係形成・社会形成能力の向上が期待できます。

<中学校>

つける力を意識した短学活の工夫
～付箋を活用し、自尊感情を高める活動を～

つける力

・「自分に自信がもてない」という生徒の自尊感情を高めるためには…。

短学活での活動を工夫しましょう!

- ・一日を振り返り、互いのがんばり等を付箋に書き、交換し合ってみよう。
- ・曜日によって相手を代えよう。
- ・金曜日は、自分へ書くようにしよう。

活動の効果を振り返り、改善しましょう!

- ・自分のよさに気づき自信をもって行動する姿が見られるようになった。
- ・ファイルに蓄積できるようにしよう。

短学活を、個を伸ばすための有効な場に!

学級づくりをキャリア教育の視点から見ると

よく見ると、気付くことがたくさん!

学級の生徒同士が、友達の地道な頑張りについていけないことも多いでしょう。そこで、当番活動や係活動等に取り組む級友の仕事ぶりを互いに観察し、よさを伝え合う活動を取り入れてみましょう。互いのよさに学び合うことにより、キャリア教育で育む人間関係形成・社会形成能力の向上が期待できます。

<実施方法> ～1週間の行動観察～

- ①月曜日の朝学活で、誰の観察をするかを決めて1週間の観察開始。(全員が観察される立場になるように配慮して)
- ②毎日の午後学活で、観察した友達の活動のよさを「係活動頑張りカード」に記入。(取組の工夫や活動時の表情等)
- ③週末の午後学活で、1週間の観察を通じた感想や参考にしたいことをカードに記入して提出。
- ④担当がカードを回収し、観察された生徒にコピーを渡す。友達の活動のよさを認める記述等を学級通信等で紹介。

